

病害虫発生予報

第7号(10月予報)

令和8年9月28日

岐阜県病害虫防除所

作物名	病害虫名	対象地域名	10月予報
			発生量
なし	黒星病	栽培地域全域	やや少
果樹共通	果樹カメムシ類	栽培地域全域	多
イチゴ	ハダニ類	栽培地域全域	平年並
野菜一般	アブラムシ類	栽培地域全域	やや少
	ハスモンヨトウ	栽培地域全域	多
	タバコガ類	栽培地域全域	やや多
施設野菜	コナジラミ類	岐阜・西濃地域	やや多

【防除にあたっての注意事項等】

薬剤防除にあたっては、「病害虫・雑草防除指導指針」を参照するとともに、最新の農薬登録情報を確認し、使用基準を遵守してください。

外部リンク：外部リンク：農薬登録情報提供システム（農林水産省）
<https://pesticide.maff.go.jp/>

【発生予報・根拠・注意事項等】

I 果樹類

1 なし

黒星病	対象地域	発生量
	栽培地域全域	やや少

- (1) 予報の根拠（発生量が多くなる要因を（＋）、少なくなる要因を（－）で表記）
ア 発病葉は、岐阜・西濃、中濃地域ともに少なかった（－）。発病果は、岐阜・西濃、中濃地域で見られなかった（－）。
イ 向こう1ヶ月（9/26～10/25）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並（±）と予想される。
- (2) 防除上注意すべき事項
ア 秋期防除を徹底し、次年度の伝染源の発生を抑制する。
※ 病害虫図鑑「なし 黒星病について」もあわせて参考にしてください。

2 果樹共通

カメムシ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	多

- (1) 予報の根拠
ア 予察灯における果樹カメムシ類の成虫誘殺数は、岐阜・西濃、中濃、東濃地域は多く（＋）、飛騨地域は平年並であった（±）。
イ チャバネアオカメムシのフェロモントラップにおける誘殺数は、岐阜・西濃、中濃、東濃地域で多く（＋）、飛騨地域でやや少なかった（－）。
ウ カキの被害果は、岐阜・西濃地域で多く（＋）、中濃地域で平年並であった（±）。リンゴの被害果率は、飛騨地域で少なかった（－）。
エ 向こう1ヶ月（9/26～10/25）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並（±）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 夜温が低下すると活動が低下するが、昼間の気温が高いとカメムシ類の加害が続くことがある。

※ 病害虫発生予察注意報第6号「果樹：果樹カメムシ類」（令和8年8月24日）、病害虫図鑑「果樹カメムシ類について」もあわせて参考にしてください。

Ⅱ 野菜

1 イチゴ

ハダニ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	平年並

(1) 予報の根拠

ア ほ場での発生は、認められていない（－）。

イ 向こう1ヶ月（9/26～10/25）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並（±）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 薬剤抵抗性がつきやすいので、同一系統の薬剤の連用を避ける。

イ 生物農薬を活用する。

※ 病害虫図鑑「イチゴ ハダニ類について」もあわせて参考にしてください。

2 野菜一般

アブラムシ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	やや少

(1) 予報の根拠

ア 黄色水盤での誘殺数は、東濃地域で多く（＋）、中濃地域でやや少なく（－）、岐阜・西濃地域で少なかった（－）。

イ ほ場での発生量は、岐阜・西濃地域のキャベツで少なく（－）、ナス、トマト、キュウリについてのは場での発生は全域で認められなかった（－）。

ウ 向こう1ヶ月（9/26～10/25）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並（±）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 薬剤抵抗性がつきやすいので、同一系統の薬剤の連用を避ける。

※ 病害虫図鑑「ナス アブラムシ類について」もあわせて参考にしてください。

ハスモンヨトウ	対象地域	発生量
	栽培地域全域	多

(1) 予報の根拠

ア フェロモントラップの誘殺数は、中濃、東濃地域で多く（＋）、岐阜・西濃地域で少なかった（－）。

イ サトイモほ場での発生量は、岐阜・西濃地域で平年並（±）、中濃地域で少なかった（－）。

ウ 向こう1ヶ月（9/26～10/25）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並（±）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 早期発見に努め、若齢幼虫期の防除に重点を置く。

※ 病害虫発生予察注意報第5号「大豆、野菜類、果樹類および花き類：ハスモンヨトウ」（令和8年7月29日）、病害虫図鑑「野菜類 ハスモンヨトウについて」もあわせて参考にしてください。

タバコガ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	やや多

(1) 予報の根拠

- ア オオタバコガのフェロモントラップにおける誘殺数は、中濃地域で多く（＋）、東濃地域でやや少なかった（－）。
- イ タバコガのフェロモントラップにおける誘殺数は、中濃、東濃地域で平年並であった（±）。
- ウ 向こう１ヶ月（9/26～10/25）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並（±）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

- ア 早期発見に努め、若齢幼虫期の防除に重点を置く。

※ 病害虫発生予察注意報第３号「野菜類・花き類：オオタバコガ」（令和８年７月１５日）、病害虫図鑑「ナス タバコガ類について」もあわせて参考にしてください。

3 施設野菜

コナジラミ類	対象地域	発生量
	岐阜・西濃地域	やや多

(1) 予報の根拠

- ア 岐阜・西濃地域のトマト施設周辺に設置した黄色粘着板への誘殺数は、平年並であった（±）。
- イ 向こう１ヶ月（9/26～10/25）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並（±）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

- ア ほ場ごとに発生状況の差があるため、ほ場内をよく観察し、発生が認められる場合は薬剤防除を実施する。

※ 病害虫図鑑「トマト コナジラミ類について」もあわせて参考にしてください。

【各地域の病害虫発生調査結果および今後の予測】

※岐阜・西濃地域

作物名	病害虫名	9月発生量	10月発生予測	
			発生量	時期
大豆	カメムシ類	多	—	—
	ハスモンヨトウ	多	—	—
なし	黒星病	少	やや少	—
果樹共通	果樹カメムシ類	多	多	—
イチゴ	ハダニ類	少	やや少	—
野菜一般	アブラムシ類	少	やや少	—
	ハスモンヨトウ	やや少	並	—
	コナジラミ類	並	やや多	—

※圃場での見取り、予察灯、フェロモントラップ等により調査

●大豆

・吸実性カメムシ類

海津市に設置した予察灯への8月第4半旬から9月第4半旬の累計誘殺数は14頭（平年5.3頭）と多く推移しました。成虫は莢の伸長後期から子実肥大中期を最も好むことから、着莢期から子実肥大期の防除を確実に実施してください。

・ハスモンヨトウ

海津市に設置したフェロモントラップ（以下PT）への8月第6半旬から9月第4半旬の累計誘殺数は3,144.5頭（平年301.4頭）と多く推移しました（図1）。PTによる誘殺ピークは平年9月～10月に見られることから、今後も発生量が増加し、被害が拡大する恐れがあります。白変葉の発生を確認したら、直ちに防除を実施してください。また、幼虫の齢期が進むと薬剤の効果が低下するため、若齢幼虫の防除に重点をおいてください。

●なし

・黒星病

9月に実施した本病の発病葉率のほ場での調査では0.08%（平年0.6%）と少なかったものの、本病は、15～25℃で多湿条件が続くと、鱗片組織へ感染したり秋型病斑が発生したりする恐れがあります。罹病した鱗片や罹病葉は、翌年の伝染源となるため、鱗片組織周辺への秋期防除を徹底し、罹病葉は園外へ持ち出し処分してください。

●果樹共通

・果樹カメムシ類

岐阜市に設置した果樹カメムシ類の予察灯への9月第1半旬から第3半旬の累計誘殺数は、チャパネアオカメムシで1,927頭（平年861.8頭）、ツヤアオカメムシでは742頭（平年57.7頭）といずれにおいても多く推移しました（図2～3）。発生には地域差や園地差があるため、園内をよく観察し、飛来を確認したら防除を実施してください。なお、防除にあたっては、収穫前日数などの使用基準を確認し、適正に行ってください。

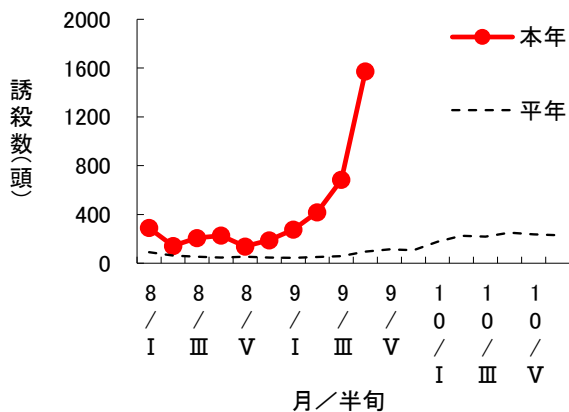


図1 PTによるハスモンヨトウ誘殺数の推移
(海津市海津町平原)

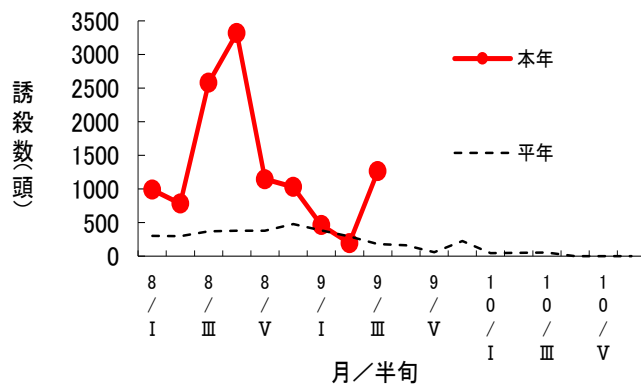


図2 予察灯におけるタバコガ誘殺数の推移
(岐阜市則松)

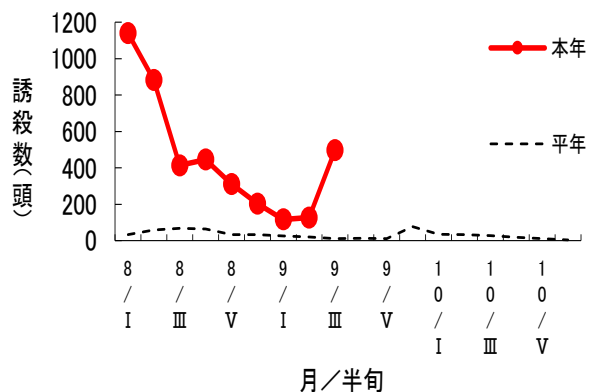


図3 予察灯によるタバコガ誘殺数の推移
(岐阜市則松)

※中濃地域

作物名	病害虫名	9月発生量	10月発生予測	
			発生量	時期
なし	黒星病	少	やや少	—
果樹共通	果樹カメムシ類	多	多	—
イチゴ	ハダニ類	—	並	—
野菜一般	アブラムシ類	やや少	やや少	—
	ハスモンヨトウ	やや多	多	—
	タバコガ類	多	多	—

※圃場での見取り、予察灯、フェロモントラップ等により調査

●なし

・黒星病

秋期防除は翌春の一次伝染源となる芽鱗片部病斑を狙って行ってください。秋期でも芽は生育しており、10月上旬には芽の基部に青々とした組織がみられ、この部分に黒星病菌が感染するため、秋期防除を徹底してください。また、罹病した葉が園内に残存していると、発生源となるため、園外へ持ち出し処分してください。

●果樹共通

・果樹カメムシ類

美濃加茂市に設置した予察灯への誘殺数が急増しています(図4)。本虫の発生は地域差や園地差があるため、園内をよく観察し、飛来を確認したら防除を実施してください。なお、防除にあたっては、収穫前日数などの使用基準を確認し、適正に行ってください。

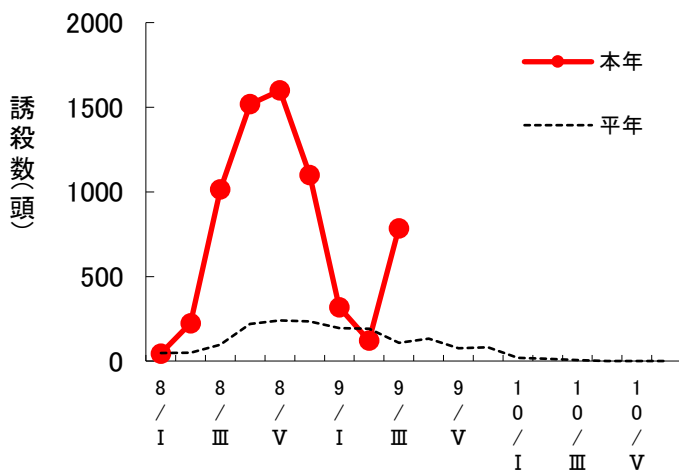


図4 予察灯によるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移（美濃加茂市）

※東濃地域

作物名	病害虫名	9月発生量	10月発生予測	
			発生量	時期
果樹共通	果樹カメムシ類	多	多	—
野菜一般	アブラムシ類	多	多	—
	ハスモンヨトウ	多	多	—
	タバコガ類	やや少	並	—

※圃場での見取り、予察灯、フェロモントラップ等により調査

●果樹共通

・果樹カメムシ類

中津川市に設置した予察灯への誘殺数が急増しています（図5）。本虫の発生は地域差や園地差があるため、園内をよく観察し、飛来を確認したら防除を実施してください。なお、防除にあたっては、収穫前日数などの使用基準を確認し、適正に行ってください。

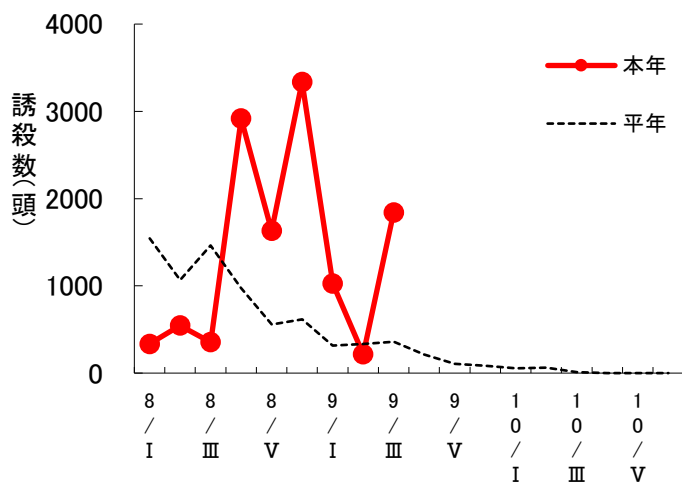


図5 予察灯によるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移（中津川市）

※飛騨地域

作物名	病害虫名	9月発生量	10月発生予測	
			発生量	時期
果樹共通	果樹カメムシ類	並	やや多	—

※圃場での見取り、予察灯、フェロモントラップ等により調査

●果樹共通

・果樹カメムシ類

クサギカメムシの予察灯誘殺数は8月第3半旬から9月第3半旬累計で1,309頭（平年985.0頭）とやや多く認められました（図6）。10月以降はエサとなる周囲のスギ・ヒノキ等の毬果から離脱し、果樹園への飛来が多くなることがあります。飛来は、夜温が高く、高湿度、風の弱い日に多くなる傾向があります。園内を観察し、必要に応じて防除を実施してください。近年は温暖化により、秋遅くまで多発することがあるので注意してください。

●夏秋トマト

・タバコガ類

下呂市に設置したタバコガのフェロモントラップへの8月第3半旬から9月第3半旬累計誘殺数は20.7頭（平年6.4頭）と多く認められています（図7）。タバコガ類は薬剤抵抗性がつきやすいため、同一系統薬剤の連用を避けて防除を実施してください。

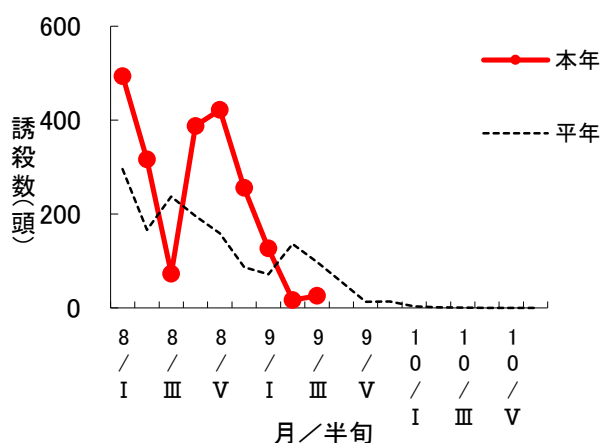


図6 予察灯によるクサギカメムシ誘殺数の推移
（高山市国府町）

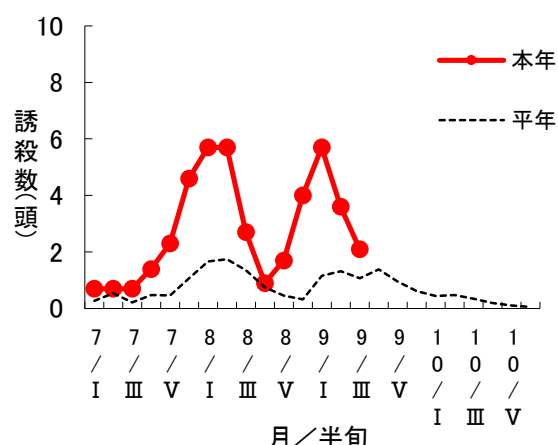


図7 フェロモントラップによるタバコガ誘殺数の推移（下呂市）

[参考資料2]

《用語の基準と使用法》

- 1 半旬 月の1～5日を第1半旬、6～10日を第2半旬と表す。
- 2 時期 平年並 平年値を中心として前後2日以内。
やや早い 平年値より3～5日早い。
やや遅い 平年値より3～5日遅い。
早い 平年値より6日以上早い。
遅い 平年値より6日以上遅い。
- 3 発生量 平年並 平年値を中心として、その値が±20%以内。
やや多い 平年値より、その値が21～40%多い。
やや少ない 平年値より、その値が21～40%少ない。
多い 平年値より、その値が41%以上多い。
少ない 平年値より、その値が41%以上少ない。
- 4 平年値 同一調査地点における過去10年間の値の平均値。

[参考資料 3]

【東海地方 1 か月気象予報】（抜粋）－名古屋地方気象台 令和 8 年 9 月 2 4 日発表－

《予想される向こう 1 カ月の天候（9 月 2 6 日から 1 0 月 2 5 日）》

- ・暖かい空気に覆われるため、向こう 1 か月の気温が高いでしょう。
- ・降水量、日照時間ともに、ほぼ平年並の見込みです。

病虫害防除所ホームページに、病虫害発生予察調査データを公開しています。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/2979.html>

主要な病虫害の防除上の注意事項等については、「病虫害図鑑」をご活用ください。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/12933.html>